

SOMPOのパーパスと気候変動

2021年10月20日

損害保険ジャパン株式会社
サステナビリティ推進部長
丸木 崇秀

自己紹介

- 1977年生 44歳 東京都出身。
1999年 慶應義塾大学 法学部政治学科卒
1999年 安田火災海上保険株式会社(現:損害保険ジャパン)入社

2000年 福岡支店(営業)

2004年 中国・香港駐在(北京、上海、香港)

2013年 内部監査部門

2016年 政府渉外・財界活動

2019年 ヒト保険商品・サービス開発部門

2021年 サステナビリティ推進部長(現職)
Durham University Business School修了(MBA)

SOMPOグループの概要

- グループは、損保事業を起点に、生保、海外保険、介護・ヘルスケアと事業領域を拡大
- デジタルとヘルスケアも事業の柱に

グループ概要



主要指標

経常収益 3兆8,400億円

(グループ連結、2020年度)

社員数 約74,000人

展開地域 29か国

グループの存在意義（＝社会における役割発揮）

SOMPOのパーパス

“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する

SOMPOが社会に提供する価値

社会が直面する未来のリスクから人々を守る

あらゆるリスクに対する備えの提供

事故や災害を未然に防ぎ、レジリエントな社会に貢献

健康で笑顔あふれる未来社会を創る

健康と笑顔を支えるソリューションの提供

持続可能な高齢社会への貢献

経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献

多様性ある人材やつながりにより、未来社会を変える力を育む

未来社会を変える人材集団の実現

価値創造に向けたパートナーシップのプラットフォーム構築

：パーパス実現に向けた重点課題（＝SOMPOのマテリアリティ）

気候変動に対する役割発揮

気候変動に向けた社会のトランスフォーメーションを支え・担う存在を目指す。

SOMPO Climate Action

①気候変動への「適応」

協働を通じた商品・サービスの開発・提供により、社会のレジリエンス向上を支援

- ・AgriSompo（持続可能な農業への貢献）
- ・防災減災に資する商品開発・新事業
- ・企業向けBCP策定支援サービス 等

②気候変動の「緩和」

グループのGHG排出量ネットゼロ実現（2050年）

- ・再生可能エネルギーの導入
- ・生物多様性等に配慮した持続可能な調達
- ・クリーンエネルギー促進に資する商品・事業
- ・企業向け脱炭素促進支援サービス 等

③社会のトランスフォーメーションへの貢献

NGO等のステークホルダーとの協働や金融機関としてのエンゲージメントを通じて社会の移行に貢献

- ・投資先企業へのエンゲージメント
- ・ルールメイキングや政策提言への関与
- ・環境人材の輩出 等

ステークホルダーとともに、人と自然が調和した包摂的でレジリエントなカーボンニュートラル社会の実現を目指す



SOMPOの強み
～時代を先取りしてきた30年の地球環境問題へ取り組み～

1992年リオサミット以降の経営のリーダーシップ

リスク管理を活かした気候変動への適応策

協働プロジェクトや環境財団を通じたNGO、有識者等との信頼関係

ESGに配慮した商品開発（保険引受・エコファンド等）や学生・市民向け環境教育で培った「環境のSOMPO」ブランドの構築 等



SDGs経営の推進方針
～「パートナーシップ」のプラットフォーム～

安心・安全・健康のテーマパーク（リアルデータ等を活用したSDGsへの貢献）

ステークホルダーとのネットワーク

多様性ある人材

損保ジャパンの概要

名 称

損害保険ジャパン株式会社
(Sompo Japan Insurance Inc.)

本店所在地

東京都新宿区西新宿 1 - 2 6 - 1



SOMPO

損保ジャパン

創業：1888年10月

資本金	700億円
正味収入保険料	2兆1,847億円
社員数	23,447名
代理店数	48,405店
国内拠点	支店・営業部125 営業課・支社・営業所510 保険金サービス拠点287
海外拠点	28か国・地域

(2021年4月1日現在)



人づくりと共創の取り組み ～木を植える人を育てる～

「市民のための環境公開講座」

1993年～

- ・ 環境NPO（日本環境教育フォーラム）との共催
- ・ 企業のリソースと環境NPOの専門性を活用
- ・ 累計参加者約30,000名



「CSO ラーニング制度」

2000年～

- ・ 大学生・大学院生を環境分野のNPOに約8か月間の長期インターンに派遣する制度
- ・ これまでに約1,200名を、61のNPOへ派遣
- ・ 社員寄付ファンドから、奨学金を支給



「SAVE JAPANプロジェクト」

2011年～

- ・ 自動車保険のWeb約款の導入にあわせてスタートした生物多様性保全プロジェクト。
- ・ 累計参加者約47,000名、全国の265のNPOと協働



当社“ならでは”の追求

(損害保険事業そのものが持つ強み)

- ・約130年の損害保険事業を通じた社会での役割発揮の蓄積
- ・全国500以上の営業拠点、200以上の保険金サービス拠点、約2万人の社員、全国の代理店様のネットワーク
- ・自治体、地場企業、自動車ディーラー、学校、個人のお客さま等、多くのステークホルダーとの繋がり

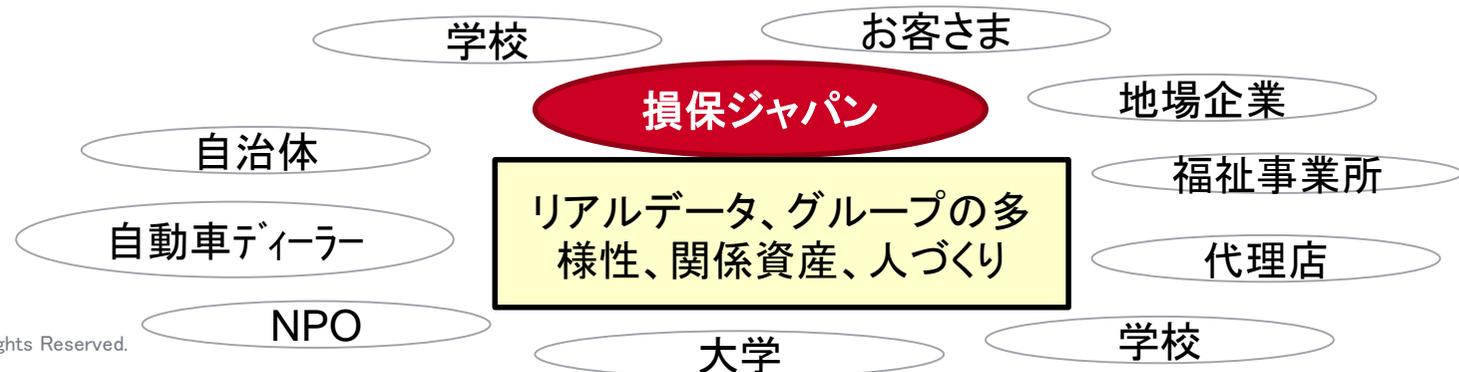
(約30年のCSRの積み重ね)

- ・ソーシャルセクターとの関係資産、共創の歴史
- ・人づくりの取組み(“木を植える人を育てる”⇒さらなる進化)
- ・文化芸術(SOMPO美術館を中心にした活動) 等

(パーパス・SDGs経営による更なる飛躍・・・“Innovation for Wellbeing”)

デジタル／AI活用(リアルデータプラットフォーム)、
新事業(保険の先へ)、多様なグループ会社

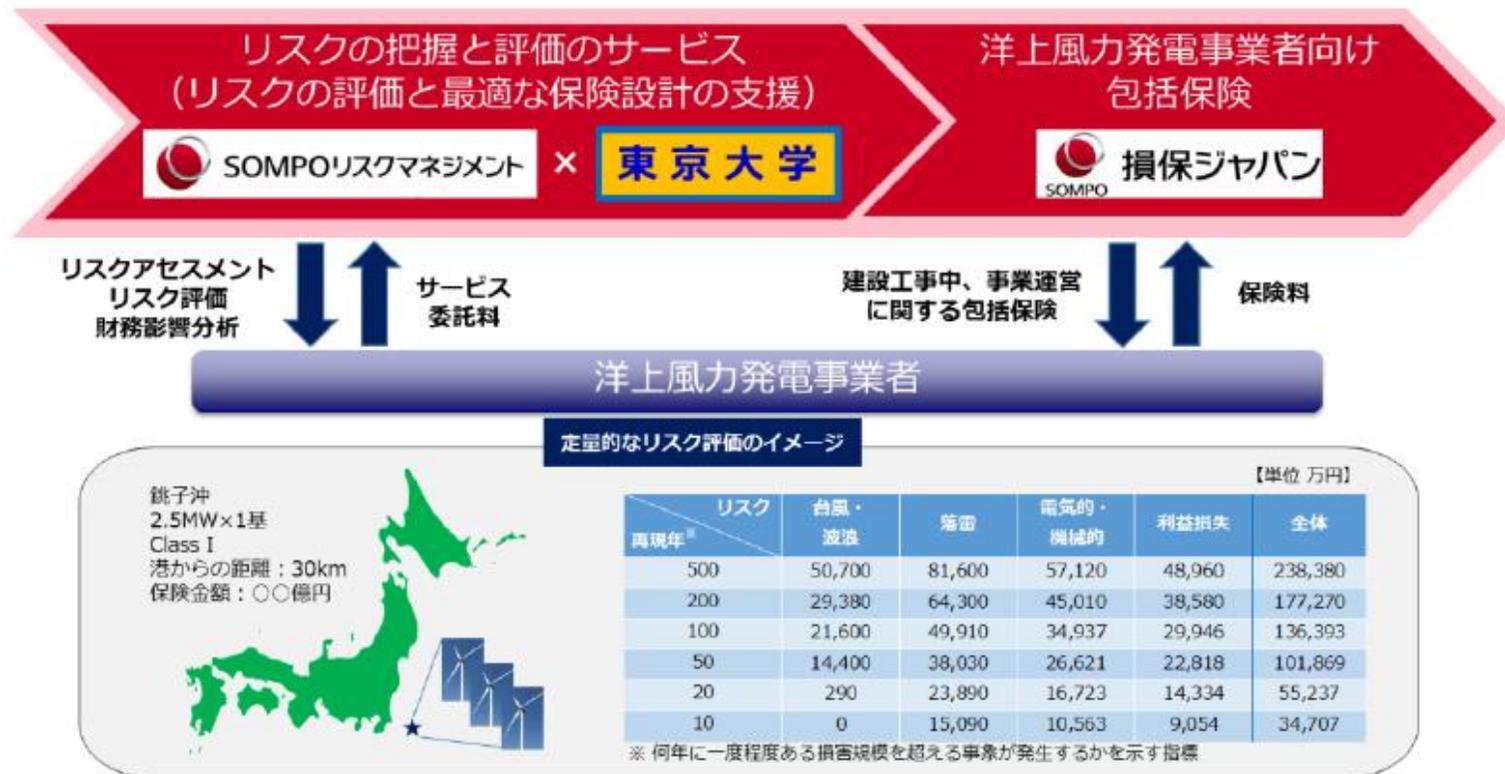
地域社会・コミュニティの課題に対する独自の役割発揮



再生可能エネルギーの普及に向けた取組み

【ONE SOMPO WINDサービスの概要】

- ◆ 再生可能エネルギーの普及・拡大を後押しする保険・サービスで脱炭素社会の実現へ貢献
- ◆ 洋上風力発電におけるリスク把握・評価・保険までワンストップで手配可能



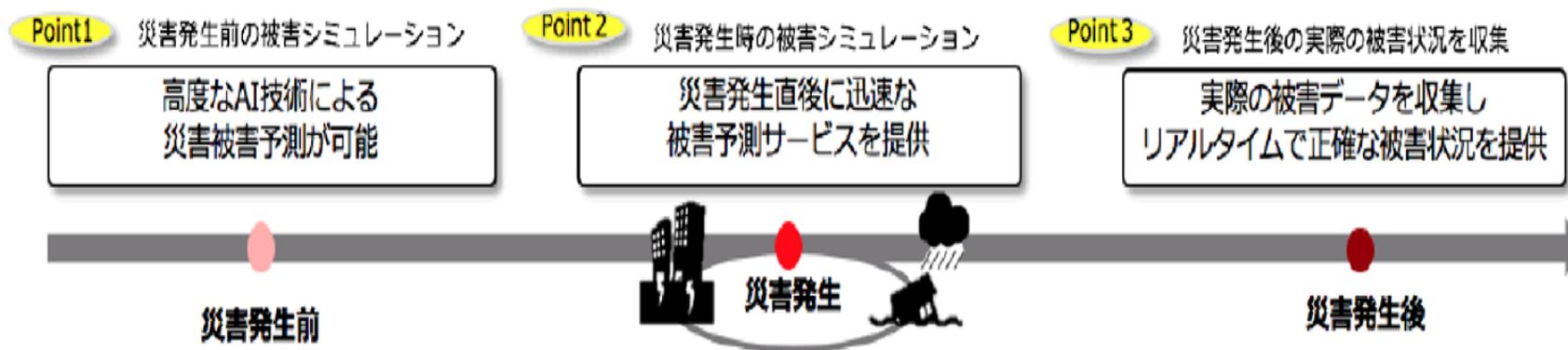
(注) 受託はSOMPOリスクであり、東京大学はリスク評価モデルの共同研究における連携

【潮流（海流）発電包括保険】

- ◆ 海洋再生可能エネルギーの発電技術の実用化を支援すべく、潮流（海流）発電に関わる固有リスクを包括的に補償

AI とリアルデータを活用した防災・減災への貢献

- ・米シリコンバレーのスタートアップ企業「One Concern」と共同で、AIを活用した防災・減災システムの実証を実施中。



サステナビリティ関連コンサルティング（SOMPOリスクマネジメント社）

ESG経営・情報開示

- ESG/CSR経営戦略策定コンサルティング
 - ・ ESG戦略構築に向けた将来シナリオワークショップ開催支援
 - ・ ESGギャップ分析サービス
 - ・ マテリアリティ特定支援
 - ・ SDGs推進支援
- ESG外部評価対応支援
 - ・ DJSI回答支援
 - ・ CDP回答支援
 - ・ その他(FTSE等)
 - ・ Web情報開示支援
- CSRレポート・統合報告書作成支援
- ESG研修
- アドバイザリーサービス

環境(E)

- 気候変動リスク分析
- 温室効果ガス排出量算定支援
- 環境マネジメントシステム構築支援
- サステナビリティ監査・環境監査
- 環境法規制等順守評価支援
- 建築物省エネルギー診断
- 「CASBEE®-不動産」評価認証取得支援
-

社会(S)

- 人権デュー・デリジェンス支援
- ニューノーマル対応・働き方改革支援
- ダイバーシティ・女性活躍推進
- ハラスメント対策支援
- 「CASBEE®-ウェルネスオフィス」評価認証取得支援
-

ガバナンス(G)

- リスクマネジメント体制構築支援
- リスクアセスメント支援
- コンプライアンス体制構築支援
-

SDGsカード・ワークショップの開発（人づくり）

- ・ワークショップ「The Action！～SDGsカードゲーム～」を開発。
- ・SDGsに基づく社会変革を実社会を擬したゲームで体感する当社オリジナルコンテンツ。
- ・社会課題解決に向け、地域における共創の土壌づくりを目指す。



（社会課題に関する理解の促進に加え、組織のコミュニケーション活性化効果も）